※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４	年次	２～３
使用教科書	地理Ｂ（東京書籍） 地歴高等地図－現代世界とその歴史的背景－（帝国書院）						
副教材等	フォトグラフィア地理図説（東京法令）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、人間の営みについて、地域の環境条件や他地域との結びつきなどから学習します。その地域では、なぜそのような営みの特徴があるのかを論理的に解明し、因果関係を明らかにしていきます。その際に、地図・地形図はもちろん、様々な統計資料を基にして、実証的に考察を深めていくことを重視しながら授業を展開していきます。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代社会の地理的認識を養う。
・現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
・地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地理的諸事象、ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味･関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることができる。	現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。 地理的概念や規則性をもとに、現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について把握することができる。	地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができる。	地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間･環境･地域)、地理的見方・考え方を身につけている。
評価方法	・レポート課題 ･授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	･定期考査(論述問題) ・授業での発言・発表 ・課題の成果	・定期考査 ・レポート課題 ・課題への取組状況	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第１編 第１章　自然環境 第１章地理情報の表現方法	・世界の地形	○	○	○	○	a:生活環境の基盤となる地形の重要性や、地球表面の起伏の状態とその形成要因について関心が高まっている。 b:小地形の形成過程を考察し、その小地形の特徴と人間生活との関係を表現している。 c:地形図の読図を通して、各種地形の特徴を読み取る方法を身につけている。 d:大地形・小地形の特徴とその形成過程とともに、人間生活との関係を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第１編 第１章　自然環境	・世界の気候	○	○	○	○	a:人間の生活・文化と気候との関係に関心が高まり、自然災害に対しても積極的な課題意識を持っている。 b:ある地点の雨温図についてその特徴を読み取り、それらが世界のどの地点のものかを判断している。 c:各気候区の分類基準をもとに、与えられた資料から任意の地点の気候区を判別する方法を身につけている。 d:異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第２編 第２章　産業と資源	・産業の発展と産業地域	○	○	○	○	a:産業構成および産業立地の変化に関心を持ち、さらに近年の情報社会の到来や地域間の結びつきの変化が与える影響にも関心が高まっている。 b:日本と世界各国の産業構造の変化について、その背景を考察している。 c:日本や世界各国の産業構造やその変化を、表やグラフなどの図を用いて表現する方法を身につけている。 d:産業の分類について理解した上で、産業構成の歴史的変容と、それに伴う産業立地の変化について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第２編 第２章　産業と資源	・農林水産業	○	○	○	○	a:農業と自然との関係や、歴史的な変革の過程に関心を持ち、近年の農産物の貿易拡大によって生じる諸問題についても多面的･多角的な問題意識を持っている。 b:農業立地の成立要因について自然、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から考察している。 c:農林水産業の生産や貿易に関する諸資料について、その特徴や問題点を適切に読み取っている。 d:世界の農林水産業の特色、分布、貿易の背景について自然、社会、市場との距離、経済水準、国家政策の側面から理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第２編 第２章産業と資源	・食料問題	○	○	○	○	a:食料の供給・生産・流通における地域差に関心を持ち、その背景を追究している。 b:食料の供給・生産・流通における地域差が生じる背景を考察している。 c:食料生産および消費に関する諸資料から、地域ごとの特徴と問題点を読み取っている。 d:食料の供給・生産・流通における地域差とその問題点を理解し、食料問題の解決に向けた取り組みに関する知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第２編 第２章　産業と資源	・エネルギーと鉱産資源	○	○	○	○	a:暮らしを支えるエネルギーの重要性とともに、エネルギー生産と消費の偏在性に伴い生じる課題など、エネルギー問題全般に対する関心を深めている。 b:石油・石炭・天然ガス・鉄鉱石の輸出国と輸入国について、それぞれの国の特徴から貿易の背景を考察している。 c:さまざまな資源の生産や分布、消費に関する統計を読み取り、資源ごとにその特徴を捉えている。 d:さまざまな資源の分布と消費地を知り、それぞれの資源の貿易やその背景を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第２編 第２章　産業と資源	・資源・エネルギー問題	○	○	○	○	a:化石燃料の大量消費に伴って生じる資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から関心を持ち、課題解決への取り組みに積極的な姿勢を見せている。 b:地球温暖化などの環境問題をさまざまな観点から考察し、その背景を表現している。 c:エネルギー消費の現状および変化を示した諸資料をもとに、国もしくは地域ごとの特徴や問題点を読み取っている。 d:化石燃料の大量消費に伴って生じる資源の枯渇や地球温暖化などの環境問題について、その背景を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

後期	第２編 第２章　産業と資源	・工業の立地と工業地域の変容	○	○	○	○	a:工業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件について関心が高まっている。 b:工業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件を考察している。さらに、現在までの工業立地の変化要因とそれによって生じる問題点についても考察している。 c:工業の生産や貿易に関する諸資料について、先進国と発展途上国、国際分業といった観点から、その特徴や問題点を適切に読み取っている。 d:先進国と発展途上国それぞれにおける産業の集積の特徴を理解し、国際分業の変化とそれに伴う国際競争の激化についても理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第２編 第３章　人口、都市・村落	・人口問題	○	○	○	○	a:発展途上国と、日本を含む先進国それぞれの人口問題に関心を持ち、課題に対する取り組みにも関心が高まっている。 b:発展途上国と先進国がそれぞれ抱える人口問題の違いに気づき、その背景をそれぞれ考察している。 c:人口爆発、少子高齢化などの諸問題を、人口に関する諸統計から正確に読み取っている。 d:発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題、先進国が抱える少子高齢化の社会的背景とそれによって生じる諸問題とともに、それぞれの問題解決に向けた取り組みを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第２編 第３章　人口、都市・村落	・都市・村落	○	○	○	○	a:都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や、都市の内部構造について関心が高まっている。 b:都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や、都市の内部構造を表現している。 c:世界や日本の都市に関する諸統計から、それぞれの都市の特徴を読み取っている。 d:都市の分布および都市システムの国ごとの特徴や、都市の内部構造について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。